



7
JULY 2015

社協だより ONAGAWA

『再び命を吹き込む…』

子供たちにとって、「遊び」は発達段階でとても大切なものです。

震災前、女川町では「おもちゃ病院—うみねこー」で数名のおもちゃドクターが活動していました。子供たちの大切な遊びのパートナーともいえる「おもちゃ」のお医者さんです。

震災のために、その活動は中止となっていましたが、ドクターワークの熱い思いもあり、活動を再開しました。

昔のように簡単なつくりのおもちゃばかりではないけれど、子供たちの笑顔のために、おもちゃに再び命を吹き込むドクターワークの姿がありました。

みなさんも、おもちゃ病院を受診してみませんか。

この広報誌の発行には、皆さまから頂戴した会費を使わせていただいております。

社会福祉協議会役員・評議員新体制でスタート

会長就任あいさつ

会長　的場 登美子

この度、女川町社会福祉協議会会長の任をお仰せつかりました。この大役を考えると身が引き締まる思いですが、代々の会長の意を大事にしながら、今、目の前にある課題に取り組んでいく覚悟ですので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

もちろん私ひとりでは何も出来ません。本会の執行部である10人の理事の皆様と事務局が一丸となって頑張って参ります。



さて、被災された多くの皆様には心からお見舞いを申し上げます。この4年余の生活は、言葉では言い現わせない程苛酷であったと思いますが、少しばかり落着かれましたでしょうか。震災前、ともすれば希薄になりつつあった人と人とのつながりは、震災後「絆」という言葉で蘇りました。家族との絆を深め、そして地域との絆を取り戻し、更に全国からかけつけてくれた多くのボランティアの方々との絆を結んで私たちはその大切さを学びました。また、何が大事で何がそうでないかこれまでの価値観を変えた方も大勢いらっしゃると思います。震災から5年目を迎える町では、計画に基づきハード事業を着々と進めており、水産・観光等のあらゆる関係分野の皆様も復興に向け、昼夜努力をされておられることを私たちは目で確認しているところです。

では、今私たちは何をすべきでしょうか。まわりに目を向ければ援けが必要な方々がいっぱい居られます。今こそ、同じ地域に住む人がお互いに声をかけ合う事でないでしょうか。個人的にはみんながもう実行していることですが、この「お互い様」の行動が地域ぐるみで日常のあたりまえの風土として根付くように、社協は一緒に行きたいと思っています。社協の事務局は皆さんの事務局ですのでどんどんご活用ください。

復興が進むとともに新しいコミュニティがたくさん出来てきます。4年後の女川町がハード・ソフト両面とも見事に復興したとき、どこのコミュニティに住んでいても、誰もが安心して大好きなこの町に住み続けることができるため積極的な地域参加をお勧めします。社協が後押しして参りますので、参画と応援をよろしくお願ひいたします。

役 員

会長	的場登美子	理 事	阿部 律子	理 事	木村 利彦
副会長	齋藤 俊美	理 事	木村 稔雄	理 事	平塚としえ
副会長	高橋 正典	理 事	横内 静子	監 事	遠藤 貢
理 事	佐藤 良一	理 事	佐藤 毅	監 事	渡邊 智仁

評 議 員

木村 康行	藤木憲治郎	三宅 仁子	木村佳代子
青山 修司	遠藤 進	阿部 厚子	石森 洋悦
阿部 義一	鈴木 浩	鈴木 亀悦	三浦 順義
石森 洋一	高橋 義弘	金山 未子	阿部 淑子
阿部 進一	鈴木 誠喜	阿部 求	志賀 勝美



防災教育

異学年の交流を通して防災を考える

今回の「コドモノページ」は、女川小学校の取組みを紹介します。震災を経験した子どもたちが、子どもたちの目線で地域を見つめ「防災」を考えました。

「地域を見る」

女川小学校（阿部清司校長：全校児童232名）では、1年生から6年生までの全校児童を地区ごとに分け、自分たちの地域を知り、危険個所や避難場所、もしもの時に役に立つものなどを挙げ、3回に分けた「防災マップづくり」に取り組んでいます。

今回は、この1回目となる6月12日（金）の授業にお邪魔しました。

全校生徒が体育館に集まり、まずはゲームをしながら交流を図りました。前日、避難訓練を行っていた子どもたちは、その避難経路で危ない箇所や安全な箇所、避難の時に役立つものなどについてみんなで話合いました。

なかには、「今回の避難経路ではなく、ほかの経路を通って避難した方が良い」という意見も出されるなど子どもたちの目線で感じた意見も出されました。

いつもの避難経路も違った視点で見ると、いろいろと見えてくるものがあります。様々なシミュレーションをしながら身近な地域を捉えることで、応用力も身につき、もしもの時の大きな力へつながるのでしょうね。

次回は、6月30日（火）を予定しており、今度は実際に子どもたちの住んでいる地域について考えます。



1つのテーマについて話し合っています。



「この活動を通じて」

女川小学校の学校行事には、年間を通じて「避難訓練」やBFC活動（消防少年団活動）などを行い、防災に関する知識を習得するための授業も行っています。

しかし、本当に大切なことは「それらの知識を自分なりに活用しながら、状況に合わせて動く力」が必要となってきます。日頃からシミュレーションする力と、ことで得られる経験値が大きな力になると青山教頭先生は語ります。

また、「縦割り」というのも今回の大きなポイントになっており、地域コミュニティを意識したこの班編成が大きな意味を持ちます。

今回の授業では、区長・自治会長にもご参加いただくと共に、「子供応援団」の方々が地域のみなさんにもお声がけしました。



自治会長さんも一緒に

地域探訪！ Vol.23

石巻の流留地区には女川町の仮設住宅が2つあります。今回は、その1つ蟹田仮設住宅の取組みをご紹介させていただきます。

◇蟹田仮設住宅自治会◇

この取材に伺う旨の連絡を入れると、会長さんから「何人かにも集まつてもらうから、11時に来て」と言われ、時間に伺うとすでに女性が数名。お茶請けまで準備されていました。

「いつも私（会長）の一声で、このように集まってくれるんだよ。」と団結力の強さを感じられました。

現在の入居者数は23世帯。震災後の8月6日から入居が始まり、この1年くらいは自立再建などで退去される方も多くなったといいます。



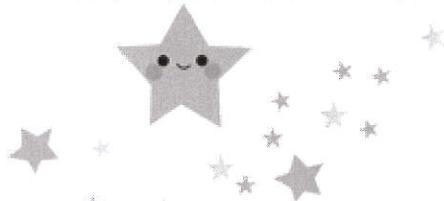
交流会の様子



4月、職員の異動があり、このコーナーの担当職員が女川町地域包括支援センターへ異動となりました。そのため、「見つけらっしゃい！」は標題を改め、「地域探訪！」と題してお送りいたします。



日本赤十字社発行誌にも掲載



蟹田のみなさんは、1つの御縁をきっかけに、毎年交流を続けています。

遠く離れた山形県朝日町立朝日中学校との交流です。

入居してから数か月後の秋、日本赤十字社山形支部の紹介で朝日中学校の生徒達との出会いがあり、毎年仮設住宅を訪れては住民の方々との交流を行っています。また、中学校で行われる文化祭にもご招待を受けお邪魔しています。普段のお茶のみにもなかなか出て来ない男性陣ですが、この交流会の時は役割もあり、仮設住宅のみなさんが一丸となって「おもてなし」をしています。

仮設住宅の中には、幅広い年齢層の方々が住まわれています。

とはいっても、仮設住宅には子どもが4名しかいません。だからこそでしょうが、子供たちの声が聞こえるととてもうれしくなる話す86歳の女性は、自ら自治会の活動に参加し、若い方々の良き先輩として現役で役割を担われています。

住み慣れた地を離れ、ここの仮設住宅に住み始めた頃には、それぞれ住んでいた地域が恋しくなったそうですが、今では4年という月日を共に過ごしたことで、忌憚なくそれが生活できるようになったとも言います。

ここで残された生活を、愉快に楽しく過ごしていきたい…と皆さん口々に話された様子がとても印象的でした。

ぜひ皆さんの地区を元気にする活動を教えてください。取材に伺いますので、女川町社会福祉協議会までご連絡ください。

うみねこ園だより

共に学ぶことの意味



ステキなカレンダーをいただきました。

昨年度、福祉教育で交流を図った女川小学校の4年生（当時3年生）が作成したカレンダーです。

福祉学習では、フロアホッケーを通して交流を深め、「うみねこ園」の生活を知る学習も行いました。

今では、うみねこ園の送迎車をみかけると元気に手をふってくれる子供たちの姿も見られるほどです。

利用者さんを想いながら、このカレンダーを作成してくれた子ども達。共に学び合うことの意味がそこにはあるような気がします。

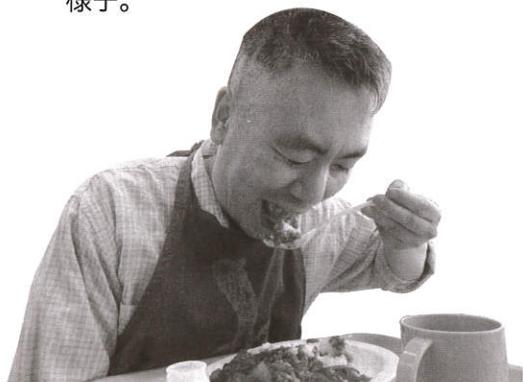


みんなでトン♪ とん♪ トン！！

トントン、トントンとうみねこ園に鳴り響きます。

6月1日は、調理実習の日。みんなで「カレー」を作りました。

この日を待ちわびた利用さんは、朝からどこかソワソワと落ち着かない様子。



お米を洗い野菜を洗って切り、お肉を炒めるなどそれが役割を担いつつ、楽しんで調理実習をすることができました。

自分達で作ったカレーの味は格別でした。

今回は、新しい会長さんにも召し上がっていただき、「おいしい」のお裾分けができました。



女川町指定ゴミ袋を販売しております。

下記の町内各事業所のご協力をいただき、ゴミ袋を販売しております。

きぼうのかね商店街 赤間商會様
高橋酒店様

浦宿一 セブンイレブン宮城女川店 様

浦宿二 ツルハドラッグ宮城女川店 様

コンテナ村商店街 相喜フルーツ 様

浦宿三 はや美印刷所 様

石巻市 イオンスーパーセンター石巻東店 様

上記販売店以外、うみねこ園でも取り扱っております。（電話番号0225-54-4028）

お申し付けいただければ配達させていただきますので、ぜひお買い求めください。

女川町ボランティアセンターだより 7月号

※ボランティアについての各種お問い合わせはこちらへ ☎0225-53-4333 (担当:矢竹拓/木村銀次郎)

出島区・上三区の屋外ペタンクコートの作成支援

2月25日(水) 出島で行われた住民座談会で「ペタンクをやってみたい」という声が上がったことを受け、区長さんに災害公営住宅集会所の横に手作りのペタンクコートを作っていただき、6月3日(水) 女川町生涯学習課の出前講座による「ペタンク体験講座」を開きました。

当日あいにくの雨天ではありましたが、まずは集会所内で室内ペタンクを使ったルール解説と体験を行い、雨が落ち着いた頃を見計らって、新設したコートで鉄球を使った屋外ペタンクも体験いただくことが出来、「ガチャン!」と鉄球と鉄球がぶつかりながら、一発逆転も起こる屋外ペタンクの爽快感は、同じルールでも室内ペタンクとは異質のものであることがよく判りました。

また、ヘルシーみやぎの試合を控えた上三区の選手からは急きょ「練習場所が無い」という声を受け、簡易ながら6月8日(月) 桜ヶ丘の旧女川幼稚園の庭にペタンクコートを作るお手伝いをいたしました。皆で草を取り、砂利を取り除き、地面を均して作り上げたペタンクコートは簡易とはいえ、嬉しい出来栄えでした。

10メートル×4メートルの広さがあれば、実質500円程度の材料費で簡易コートは作れますので、ぜひご相談下さい。老若男女が楽しめ、簡単ながらも奥深く、健康づくりにも最適なペタンクの導入を女川町生涯学習課と連携してお手伝いいたします。



コート作りに漁師の工夫あり

車イスのメンテナンスボランティア始めました!



シニア世代の経験が古よりです

永楽会おながわから、施設内の車イスの点検の相談があり、ちょうど5月3日(日)に大学生からメンテナンスの手ほどきを受けていたことで、おもちゃドクターを含めた町民ボランティアで車イスの修理にチャレンジすることになり、6月11日(木)初めて町民ボランティア4名による車イスのメンテナンスを実施いたしました。

始めは手探りでしたが、メンテナンスのポイントが段々わかってきて、ブレーキ・ストッパー・タイヤ圧・ネジの緩みなどを確認して、各部に付いた汚れを取り除くことが故障を防ぐうえでも重要だとわかりました。

準備すべき工具や清掃に必要な用具も今回の実践で把握することが出来、まだ手探りは続きますが、車イスのメンテナンスボランティアのノウハウを積み重ねて、いずれ育成講座も行いたいと思います。

レクリエーションリスト作りました!

「誰でもかんたんレクリエーション」が大好評です。地区のお茶会や福祉施設のレクリエーションの提供に悩むお世話役の方々をお助けするために新たに開発した虎の巻です。

書いてある通りに読み上げるだけで、誰でも足元から手足・口腔機能・脳トレーニングも含めた20種/30分のレクリエーション提供が出来る内容となっています。

他にも皆で楽しく歌える振り込めサギの予防ソング「オレオレ音頭」や、お座敷小唄の替え歌認知症予防ソング「ボケない音頭」等の各種歌詞に加え、貸出し可能なレクリエーション用具も取り揃えており、それらを一覧にまとめたリストも整備いたしました。

希望者に配布いたしますのでぜひ活動の充実にお役立て下さい。

レクリエーションネタの提供もお待ちしています。



片足上げ運動にチャレンジ!

女川町民の登録ボランティアが50名を突破!

昨年度から女川町民のボランティアの育成に積極的に取り組み、ようやく50名の登録ボランティアを数えるようになりました。

主な年代は高齢者に偏りますが、数は少なくとも20代の男女の登録もあり、身体の不自由な方にも出来る範囲の中で、ご活躍いただいています。

これまで鳴り砂清掃等の大人数が必要な活動の際には、町外の団体ボランティアのご支援に助けられてきましたが、ようやくまとまった人数の町民ボランティアを派遣できる体制が整いつつあります。

ボランティアセンターでは27年度内に女川町民の登録ボランティア100名突破を目指しておりますので、登録と活動参画にご協力お願いします!

ひとりで困りごとを抱えていませんか?

要望にそのままお応えすることは出来ないかもしれません、丁寧にお話を聞いて、課題をボランティアや地域住民、あるいは自分自身の力で少しでも解決できるよう、相談者に寄り添い、繋ぐのがボランティアセンターの役割です。

訪問してお話を聞くことも出来ますので、お気軽にご相談下さい。

皆様から頂戴する会費は社協の大事な財源です。
(5月9日～6月8日受付分)

特別会員（年会費1万円）

(敬称略)

行政区	氏名
浦宿二	阿部恵子
上三	女川レンタカー

賛助会員（年会費5千円）(敬称略)

行政区	氏名
針浜	木村 稔
上三	木村 たき子
飯子浜	阿部 正門
宮ヶ崎	齋藤 俊美
石巻バイパス東	平塚 正人

みやぎ花のあるまちコンクール

花づくりや緑の育成を通じて、地域づくりや人々との交流を行っている団体を募集します。

地域や団体を対象とします。

花づくりや緑の育成を通じて、地域づくりや人々との交流を行っている自治会（町内会）、子供会、老人クラブ、仮設住宅等の自治組織、ボランティア団体、事務所等（個人宅は除きます。）

花づくりや環境整備の状況を申込書に記入し、カラー写真10枚程度（花の様子5枚、作業の様子5枚）を添えて提出してください。

すばらしいみやぎを創る協議会

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1

宮城県環境生活部共同参画社会推進課内

TEL 022-211-2576 FAX 022-211-2392

※すばらしいみやぎを創る協議会のホームページに申込書が掲載されており、ダウンロードしてご使用いただけます。

募集対象

応募方法

応募先

表彰

表彰は、11月17日（火）ホテルメトロポリタン仙台で開催される第49回すばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」において行い、賞状及び記念品を贈呈します。

応募締切 平成27年9月18日（金）まで
(郵送の場合は当日消印有効)

皆様の善意に感謝申し上げます。

(5月9日～6月8日受付分)

(敬称略)

寄附金

	氏名	金額
愛知県	妙勝寺	50,000円
愛知県	横井起久子	50,000円

屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金募集

屋久島町口永良部島の新岳が爆発的噴火をしたことにより、島民全員が島外へ避難する事態となりました。

今後避難が長期化することが懸念されることから、島民の方々を支援するため、義援金を募集しています。

義援金の募集方法

(1) 義援金受入口座（専用口座）

●鹿児島銀行 県庁支店 口座番号(普)3014786

名 義 福 鹿児島県共同募金会

●南日本銀行 県庁支店 口座番号(普)1142855

名 義 福 鹿児島県共同募金会

●ゆうちょ銀行 00950-7-235456

名 義 鹿児島県共同募金会 噴火災害義援金

※各金融機関の振込用紙をご利用下さい。

◎鹿児島銀行及び南日本銀行の各本支店間の振り込み、全国のゆうちょ銀行間の振り込みについては、窓口での振込手数料は無料扱いとなります。

◎ATM及びインターネットバンキングを利用しての振り込みについては、振込手数料がかかります。

(2) 現金書留（受付期間中は料金免除となります）

〒890-8517

鹿児島市鴨池新町1-7 社会福祉センター内

社会福祉法人 鹿児島県共同募金会

※宛名のところに「救助用」と明記の上、送金ください。

受付期間は平成27年12月25日(金)までとなっております。

～問合せ先～

社会福祉法人 鹿児島県共同募金会

〒890-8517

鹿児島市鴨池新町1番7号 県社会福祉センター2階

TEL 099-257-3750 FAX 099-259-4068

E-mail akaihane@po.minc.ne.jp

ご存知ですか？！『社会を明るくする運動』

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で65回目を迎えます。

犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させないためには、地域のチカラが必要です。この運動では、その人たちを再び受け入れることが自然にできる社会にするため

「出所者等の事情を理解した上で雇用する企業の数を増やすこと」

「帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと」を
重点的に行っていきます。

犯罪や非行を防止し、更生した人たちが地域で生活していくために

「地域のチカラ」で誰もが住みやすい社会を目指しましょう。



第2回「ふれあい交流会」開催

第2回目となる「ふれあい交流会」を下記のとおり開催いたします。ぜひご参加くださいませ。

日 時 7月29日(水) AM10:30~
 場 所 地域福祉センター
 内 容 法話「こころを聴く」
 通大寺住職 金田諦應氏
 参 加 費 一人500円
 対 象 70歳以上の方ならどなたでも
 申込方法 直接下記までお申込みいただかず、
 地域の民生委員ここから支援員へ
 お申込みください。
 女川町社会福祉協議会
 TEL 0225-53-4333
 申込締切 7月17日(金)

第23回宮城シニア美術展作品募集

宮城県社会福祉協議会では、高齢者の文化活動の一環として行われる美術展に伴う創作による作品を次とおり募集しております。

○募集対象 日本画・洋画・書・写真・工芸の5部門
 ○テー マ 自由
 ○出展申込料 1作品500円(出展は各部門1人1点)
 ○申込締切 9月30日(水)まで
 ○展示会場 宮城県美術館 県民ギャラリー
 ○展示期間 11月19日(木)~11月22日(日)
 ※入場無料
 ○審 査 各部門専任審査員が審査します。
 なお、入賞作品は、平成28年開催予定
 「ねんりんピック長崎2016」美術展
 部門へ出展いただきます。
 ☆お申込み・お問合せ
 宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課
 電話 022-223-1171 <http://www.miyagi-sfk.net/>

アルコール問題に関する相談をしてみませんか?

専門相談

- 対象
 - ・アルコール関連問題で困っている本人及び家族等
 - ・アルコール関連問題の相談を受けている相談従事者等
- 日時 7月17日(金) 13:00~15:00
- 場所 石巻合同庁舎 別棟2階 相談室
- 内容
 - ・相談員による相談及び関係者によるケースカンファレンス
 - ・困難事例へのスーパーバイズ及び事例検討

家族教室

- 対象 アルコール関連問題で困っている家族等
- 日時 7月17日(金) 10:00~12:00
- 場所 石巻合同庁舎 別棟2階 相談室
- 内容
 - ・相談員による講話「アルコール依存症と家族」
 - ・グループミーティング

※3回シリーズを年2回開催します。途中からの参加も可能

申込・問合せ先

宮城県東部保健福祉事務所母子・障害班
 電話 0225-95-1431 事前予約制です

7月の土日無料法律相談

お仕事などにより、平日にご相談できない方を対象とした休日無料法律相談を行っています。
 住宅ローン、金銭の貸借、相続トラブル、離婚、労働トラブル、いじめ、その他弁護士に相談してみませんか。

日時:11日(土)・26日(日)10時~16時

場所:法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)

※お住まいの場所に関係なくどなたでも無料で相談できます。

※事前予約の方が優先となります。

※通常の時間帯の法律相談も行っています。

予約・問合せ先 法テラス東松島

TEL 050-3383-0009

(受付:平日9時~17時/相談:平日10時~16時)

7月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については地域遊びリテーション [] ・ふまねっと [] となります。

地 区	日 時	地 区	日 時	地 区	日 時	地 区	日 時
大 沢	13日13:30	一 小 仮 設	15日 9:30	運動公園住宅	23日 9:30	旧 三 小	お 休 み
浦 宿 一	14日13:30	上 三	23日13:30	清 水	14日 9:30	指 ケ 浜	お 休 み
浦 宿 二	8日13:30	上 四	10日13:30	日 藤	21日13:30	出 島	お 休 み
浦 宿 三	9日13:30	上 五	6日13:30	新 田	お 休 み	バイパス東	10日 9:00
針 浜	27日13:30	西 二	28日14:00	小 乗	13日 9:30	バイパス西	8日 9:30
針浜仮設	お 休 み	多目的運動場	21日 9:30	宮 ケ 崎	お 休 み	蟹 田・内 田	27日 9:30
旭 が 丘	お 休 み	野 球 場	24日 9:30	桐 ケ 崎	お 休 み		

※7月の会場は蟹田仮設集会所

※五部浦地区についてはおってお知らせいたします。